

<「言語教育 EXP02020」 アスク・研究社共同企画>

大学の英文法指導をめぐる

——『ヘミングウェイで学ぶ英文法』『英文解体新書』の著者とともに——
オンライン (ZOOM)

日時： 2020年10月25日(日) 16:50-17:50
講師： 倉林秀男(杏林大学)
北村一真(杏林大学)
原田範行(慶應大学・日本英文学会会長)
受講料： 無料

昨年刊行され注目を浴びた二冊の本の著者——『ヘミングウェイで学ぶ英文法』(アスク出版)の倉林秀男氏、『英文解体新書』(研究社)の北村一真氏——が、自著について語りながら、大学における文法指導、読解授業の在り方や工夫について語ります。ゲストは、先日、倉林氏とともに『オスカー・ワイルドで学ぶ英文法』を上梓、そして二人の恩師でもある英文学会長の原田範行氏です。

各著者によるプレゼンのあと、ディスカッション、その後、参加者との質疑応答を行うという構成です。1時間の予定ですが、質問(チャットでの質問を基本とする予定です)などが多い場合は時間延長もあり、です。

講師プロフィール

倉林秀男

杏林大学外国語学部教授、博士(英語学(獨協大学))。専門は英語学、文体論。<ことば>にかかわること全般を研究対象としている。日本文体論学会代表理事(2018年~2020年)、同学会会長(2020年~)。著書に『言語学から文学作品を見る—ヘミングウェイの文体に迫る』(開拓社)、『街の公共サインを点検する』(共著、大修館書店)、『ヘミングウェイで学ぶ英文法』シリーズ(共著、アスク出版)などがある。



北村一真

杏林大学外国語学部准教授。専門は英語学、英語語法文法研究。学部生、大学院生時代に関西の大学受験塾、隆盛ゼミナールで難関大受験対策の英語講座を担当。訳書に『世界の英語と社会言語学—多様な英語でコミュニケーションする』(共訳、慶應義塾大学出版会)、著書に『Winning Presentations—動画で学ぶ英語プレゼンテーション—覚えておきたい8つのモデル』(共著、成美堂)などがある。



原田範行

慶應義塾大学文学部教授、博士(文学(慶應義塾大学))。専門は近現代英文学、出版文化史、比較文化論。日本英文学会会長、日本ワイルド協会前会長、日本学術会議会員、Dr. Johnson's House (London) 理事。主な著訳書(邦文)に、『風刺文学の白眉—「ガリヴァー旅行記」とその時代』(NHK出版)、『「ガリヴァー旅行記」徹底注釈』(共著、岩波書店)、『オスカー・ワイルドの世界』(共著、開文社出版)、『パミラ』(研究社)、『教室の英文学』(共著、研究社)『クック南半球周航記』(岩波書店)、『召使心得 他四篇—スウィフト諷刺論集』(平凡社)などがある。



●お申し込みは、以下の言語教育エキスポ2020補講参加フォームから。メールアドレス、お名前、所属などを記入して送信すれば、どなたでもご参加いただけます。補講参加フォーム：<https://ux.nu/Enuq6>

お問い合わせ先 アスク(森田修) morita@ask-digital.co.jp / 研究社(津田正) waugh@kenyusha.co.jp